

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.72

日時	2014年2月5日
行脚先	英賀神社
住所	兵庫県姫路市飾磨区(播磨国)
行事名	

特徴

奈良時代初期に記された「播磨国風土記」の飭磨郡英賀里に「伊和大神の子、阿賀比古と阿賀比売の二神」と記載があることから、奈良時代以前の創建であると考えられています。英賀の地名はこの2柱の神に因んだもので、英賀は伊和族(播磨国一宮伊和神社の伊和大神を祀る氏族)の平野部での一拠点だったそうです。六国史の一つ『日本三代実録』にも「陽成天皇 元慶5年(881年)5月5日播磨国正六位上英賀彦神、英賀姫神並授、従五位下」とあり、その名が伺えます。一時は「播磨最大の都市」と言われ、東は夢前川、西は水尾川、北は湿田、南は内海に囲まれた水城が築かれ、浄土真宗の英賀本徳寺を中心に、寺内町、商業の町として栄えたそうです。拝殿横には、作家・司馬遼太郎が黒田官兵衛を描いた小説「播磨灘物語」の文学碑が立ち、本殿裏側に土塁跡がわずかに残されています。

黒田官兵衛との関わり

英賀神社は、一大勢力を誇った三木氏が城主であった英賀城跡の一角にあり、境内には英賀城土塁跡が残されています。黒田官兵衛を主人公にした小説「播磨灘物語」の作者「司馬遼太郎」の先祖は英賀に籠城した武将とされており、境内には「播磨灘物語」の文学碑が建てられています。

記録

